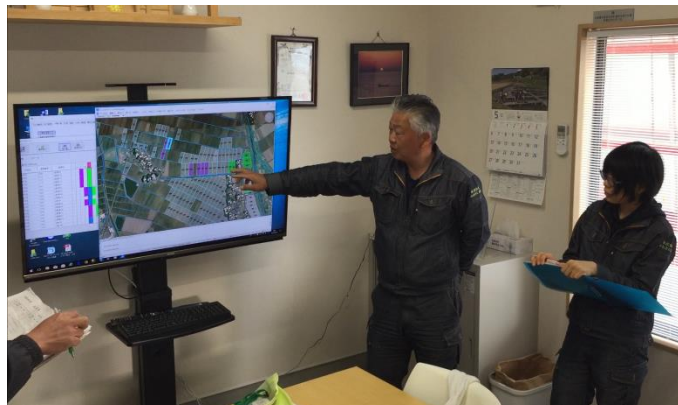


品目: 水稻、園芸等

地区名: 柿崎区上直海

## ① 実証技術・使用時期

技術名: 自動給水装置「MIHARU」  
営農支援システム  
未来ファーム「MINORI」  
メーカー: 上越ICT事業協同組合  
使用時期: 4月から11月頃まで



## ② 技術内容

「MIHARU」は、自動給水栓(AVバルブ専用)を、設定した時間や間隔での自動開閉や、遠隔操作での水位管理・制御ができる装置。

「MINORI」は、播種から収穫までの作業工程をデータ化し、作業計画や作業指示が、いつ誰でも確認することができ、作業の効率化、高収益につながるシステム。



## ③ 経営体の概要

所在地: 上越市柿崎区上直海

経営体名: 株式会社ふるさと未来

経営面積: 62.2ha(内、水稻52.1ha、露地園芸15.5ha(5.4ha二毛作)、園芸ハウス3棟7.5a)

従業員: 8人

## ④ 技術の効果(感想)

「MIHARU」では、パソコンやスマートフォンで、各ほ場の水位状況の確認・バルブの自動開閉が可能であるため、水管理作業時間を80%削減できた。また、休日でも外出先から管理ができるので、ほ場の適正水位を社員全員で共有できるようになり、休日も安心して過ごすことができた。「MIHARU」の導入により、働き方改革にもつながると感じた。

また、「MINORI」では、事前に作成した作業計画に基づき作業を進めていくため、農業初心者でも計画的に無駄のない作業が可能となった。ほ場に設置したICタグにスマートフォンをタッチすることにより、作業内容の確認が容易にでき、作業ミスの防止や作業時間等のデータ管理と作業状況がリアルタイムで把握でき、作業効率の向上につながった。